



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 上場取引所 東  
 コード番号 9218 URL https://mh-tec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 刀禰 真之介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長兼 (氏名) 松浦 優 TEL 03 (6277) 6595  
 コーポレート本部担当  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,304	10.6	216	△31.2	212	△27.6	158	△29.9
2022年12月期第2四半期	1,179	—	315	—	294	—	225	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 158百万円 (△29.9%) 2022年12月期第2四半期 225百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	16.00	14.96
2022年12月期第2四半期	23.34	21.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,454	823	56.6
2022年12月期	1,296	655	50.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 822百万円 2022年12月期 654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,775	21.3	500	35.2	472	36.7	351	32.6	35.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	9,901,300株	2022年12月期	9,835,300株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	23株	2022年12月期	23株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	9,884,946株	2022年12月期 2 Q	9,667,406株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、2023年8月14日（月）にTDnet及び当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年から続く各国中銀による金融引き締めの一環を受けた海外経済の不透明感はあるものの、円安による外国人観光客の増加や、新型コロナウイルスが5月に5類へ移行したことを受けた大型連休での国内旅行の増加により、景況感の改善が見られました。

このような状況のなかで、当社グループは、引き続き、安定した収益基盤の構築と持続的な事業の拡大を目指して参りました。新型コロナウイルスが5類へ移行したことにより、前第2四半期連結累計期間に発生したワクチン接種に関する医療人材の紹介手数料売上が大幅に減少した一方、当社グループの主要事業であるメンタルヘルソリューション事業においては、経済活動の再開を受けて受注活動が活発化しました。また、昨年9月に100%子会社として設立した「株式会社ヘルスケアDX」（以下、ヘルスケアDXという）や昨年12月に連結子会社化した「株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所」（以下、明照会という）も業績を着実に伸ばしており、当社グループの成長に寄与しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,304,409千円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益216,713千円（同31.2%減）、経常利益212,949千円（同27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益158,118千円（同29.9%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

#### a. メンタルヘルソリューション事業

メンタルヘルソリューション事業では、産業医及び保健師等による役務提供サービスと労働者の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS」をパッケージ化し、「産業医クラウド」の名称で提供しております。

当第2四半期連結累計期間におけるメンタルヘルソリューション事業においては、新規顧客獲得のため、顧客サービス体制の強化、大手企業向けコンサルティング提案営業の推進などを引き続き行っていました。また、既存顧客へのサービス追加による増額提案活動も実施しております。ヘルスケアDXのメンタルクリニック運営支援サービス事業については、運用を開始しております。また、東海地方における明照会との営業活動の相乗効果が徐々に始まっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高1,030,762千円（前年同四半期比44.2%増）、セグメント利益72,296千円（同25.6%減）となりました。

#### b. メディカルキャリア支援事業

当第2四半期連結累計期間におけるメディカルキャリア支援事業においては、自治体による新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が一巡したことから関連する売上が減少したものの、医師転職案件においては紹介先医療機関の掘り起しに注力し、着実に受注につなげました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高242,428千円（前年同四半期比44.3%減）、セグメント利益118,010千円（同51.6%減）となりました。

#### c. デジタルマーケティング事業

当第2四半期連結累計期間におけるデジタルマーケティング事業においては、グループの売上に寄与することを旨として当社グループ企業向けのマーケティングに事業部内のリソースを集中しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高は31,218千円（前年同四半期比3.3%増）となりましたが、当社グループ内取引の増加等により、セグメント間の内部売上高又は振替高が増加したことから、セグメント利益は36,379千円（前年同四半期は558千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ158,185千円増加し、1,454,300千円となりました。これは主に、金融機関からの資金借入によって現金及び預金が前連結会計年度末と比較して152,573千円増加の812,084千円となったことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,845千円減少し、630,900千円となりました。主な増加要因は、当第2四半期連結累計期間に実行した資金借入によって短期借入金を44,668

千円計上したこと、及び長期借入金が118,669千円増加し252,619千円となったことであります。一方主な減少要因は、未払法人税等が82,972千円減少し51,486千円となったこと、未払金が52,161千円減少し59,032千円となったこと、及び買掛金が47,449千円減少し86,074千円となったことであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ168,031千円増加し、823,400千円となりました。これは主に、利益剰余金が158,118千円増加したこと及びストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,950千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想については、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2023年12月期中も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと仮定し、予想数値を算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	659,511	812,084
売掛金	239,455	265,909
仕掛品	63	97
貯蔵品	3,083	3,176
前払費用	22,920	8,982
未収入金	68,605	58,119
その他	1,723	5
貸倒引当金	△5,099	△4,967
流動資産合計	990,263	1,143,407
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	7,847	8,861
減価償却累計額	△1,268	△1,564
建物附属設備 (純額)	6,578	7,297
工具、器具及び備品	17,652	24,024
減価償却累計額	△10,665	△11,348
工具、器具及び備品 (純額)	6,987	12,675
有形固定資産合計	13,565	19,973
無形固定資産		
のれん	186,913	182,240
ソフトウェア	47,021	44,688
ソフトウェア仮勘定	12,888	19,056
無形固定資産合計	246,822	245,985
投資その他の資産		
出資金	31	31
長期前払費用	3,566	2,813
差入保証金	7,858	22,046
繰延税金資産	34,005	20,042
投資その他の資産合計	45,462	44,934
固定資産合計	305,851	310,892
資産合計	1,296,114	1,454,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	133,523	86,074
短期借入金	—	44,668
1年内返済予定の長期借入金	48,120	85,366
リース債務	1,705	—
未払金	111,194	59,032
未払法人税等	134,458	51,486
未払消費税等	46,573	27,587
契約負債	20,005	16,975
預り金	8,096	5,891
返金負債	1,919	—
賞与引当金	1,200	1,200
流動負債合計	506,795	378,281
固定負債		
長期借入金	133,950	252,619
固定負債合計	133,950	252,619
負債合計	640,745	630,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,869	535,819
資本剰余金	521,949	526,899
利益剰余金	△397,939	△239,821
自己株式	△41	△41
株主資本合計	654,838	822,856
新株予約権	531	544
純資産合計	655,369	823,400
負債純資産合計	1,296,114	1,454,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,179,742	1,304,409
売上原価	408,719	549,696
売上総利益	771,023	754,712
販売費及び一般管理費	455,843	537,999
営業利益	315,180	216,713
営業外収益		
受取利息	1	3
雑収入	0	16
営業外収益合計	1	20
営業外費用		
支払利息	1,316	1,770
支払手数料	—	2,000
新株予約権発行費	2,040	14
上場関連費用	16,805	—
和解金支払	800	—
支払保証料	196	—
営業外費用合計	21,159	3,784
経常利益	294,022	212,949
特別利益		
受取損害賠償金	49,135	5,874
新株予約権戻入益	—	87
特別利益合計	49,135	5,961
税金等調整前四半期純利益	343,157	218,910
法人税、住民税及び事業税	110,951	46,829
法人税等調整額	6,537	13,962
法人税等合計	117,489	60,792
四半期純利益	225,667	158,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,667	158,118

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	225,667	158,118
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	225,667	158,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,667	158,118
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	343,157	218,910
減価償却費	12,250	17,960
貸倒引当金の増減額(△は減少)	765	△132
返金負債の増減額(△は減少)	△685	△1,919
受取利息	△1	△3
支払利息	1,316	1,770
受取損害賠償金	△49,135	△5,874
上場関連費用	16,805	—
新株予約権発行費	2,040	14
売上債権の増減額(△は増加)	△58,023	△26,454
棚卸資産の増減額(△は増加)	△105	△126
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	1,720
前払費用の増減額(△は増加)	307	13,938
長期前払費用の増減額(△は増加)	370	753
仕入債務の増減額(△は減少)	19,772	△47,449
未払金の増減額(△は減少)	△1,253	△53,153
契約負債の増減額(△は減少)	△3,509	△3,030
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,735	△18,985
その他	4,881	19,987
小計	293,691	117,926
利息の受取額	1	3
利息の支払額	△1,316	△1,921
和解金の支払額	△1,000	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,545	△134,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,830	△18,449
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,958	△9,208
無形固定資産の取得による支出	△22,886	△13,456
敷金及び保証金の差入による支出	—	△15,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,844	△37,717
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	44,668
長期借入金の借入れによる収入	100,000	222,333
長期借入金の返済による支出	△71,225	△66,418
株式の発行による収入	135,924	9,900
リース債務の返済による支出	△6,420	△1,705
上場関連費用による支出	△10,898	—
新株予約権の発行による支出	△1,563	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,817	208,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,802	152,573
現金及び現金同等物の期首残高	423,499	659,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	829,302	812,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカ ルキャリア 支援事 業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	714,595	434,931	30,215	1,179,742	-	1,179,742	-	1,179,742
外部顧客への売上高	714,595	434,931	30,215	1,179,742	-	1,179,742	-	1,179,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	500	-	23,611	24,111	100,461	124,573	△124,573	-
計	715,095	434,931	53,827	1,203,854	100,461	1,304,315	△124,573	1,179,742
セグメント利益又は セグメント損失(△)	97,209	243,598	△558	340,249	-	340,249	△25,069	315,180

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に経営指導料であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△25,069千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メンタルヘル スソリューション事 業	メディカ ルキャリア 支援事 業	デジタルマ ーケティング 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	1,030,762	242,428	31,218	1,304,409	-	1,304,409	-	1,304,409
外部顧客への売上高	1,030,762	242,428	31,218	1,304,409	-	1,304,409	-	1,304,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	450	-	52,482	52,932	146,901	199,833	△199,833	-
計	1,031,212	242,428	83,700	1,357,341	146,901	1,504,242	△199,833	1,304,409
セグメント利益	72,296	118,010	36,379	226,686	-	226,686	△9,972	216,713

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に経営指導料であります。
2. セグメント利益の調整額△9,972千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。